茨城県景気ウォッチャー調査
（平成17年12月調査分）

調査の目的

経済の第一線で働いている人々から，景気に関する生の情報を得ます。
その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに，迅速に公表します。
県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となります。

調査の概要

調査客体数…県内各地域（県北，県央，鹿行，県南，県西）ごとに60名，計300名です。
調査内容……景気の現状，先行き判断とその判断理由を質問します。
調査時期……四半期（６，９，12，３月）ごとに実施し，翌月公表します。

調査の概要（回答率97.0%）

１．県全体の状況

⑴　現状判断

３か月前と比較した景気の現状判断 DI は，「良くなっている」「やや良くなっている」の回答構成比が増加し，「やや悪くなっている」「悪くなっている」の回答構成比が減少したため，5.6ポイント増の**54.1**となり，平成16年６月以来**１年半ぶりに，横這いを表す50を上回りました。**

これは，歳暮や忘年会等の年末商戦時期の需要増により，飲食やサービス業で「やや良くなっている」との回答が多かったためです。また，企業の好況に伴い，求人数が増加しているという声も県内全域で聞かれました。

主な判断理由
・予約の問い合わせが多い。客との会話でも「景気が悪い話」が少なくなったと思う。（県北＝観光型ホテル）
・年末商戦に入り，商品の動きが良くなっている。（県央＝製造業［食品］）
・保管貨物の出庫・入庫が活発に展開している。年末時期だが新規荷主の引き合いも多い。昨年同期と比較すると格段の差がある。（鹿行＝非製造業［輸送業］）
・高額商品を購入する際，比較的ためらいが無くなったと感じる。（県南＝家電販売店）
・サービス業や製造業の求人募集が増加している。（県西＝求人広告）

景気の現状判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	46.9	47.7	48.5	54.1
家計動向関連	42.5	47.1	44.8	51.9
小売関連	45.4	47.7	47.4	50.7
飲食関連	36.8	50.0	45.0	53.6
サービス関連	40.1	44.4	40.9	51.5
住宅関連	52.8	61.1	58.3	61.1
企業動向関連	53.6	46.5	52.4	54.8
農林水産業	46.4	43.8	46.9	50.0
製造業	53.6	45.8	50.0	53.2
非製造業	55.2	48.3	57.8	58.6
雇用関連	55.0	56.0	61.0	68.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	3.2%	18.7%	45.6%	27.6%	4.9%
平成17年６月	0.3%	21.0%	53.5%	19.6%	5.6%
平成17年９月	1.4%	22.0%	51.8%	18.8%	6.0%
平成17年12月	4.5%	29.6%	47.1%	15.8%	3.1%

⑵　先行き判断

３か月先の景気の先行き判断 DI は,「良くなっている」の回答構成比が増加し,「悪くなっている」の回答構成比が減少したため，1.4ポイント増の**52.7**となり，前回調査に引き続き，**横這いを表す50を上回りました。**

これは , 小売業や非製造業で「やや良くなっている」との回答が多かったためです。時期的に，観梅シーズンや企業の期末需要に期待する回答が目に付きました。一方で，大型商業施設オープンに伴う既存店の集客力低下や増税の動きを警戒した個人消費の冷え込みを懸念する声も聞かれました。

主な判断理由
・個人消費は，年度前半より後半の方が良くなっているが，定率減税の廃止等による増税感が個人消費を鈍らせるのではないか。（県北＝衣料品専門店）
・特に若年層や家族層が，新設の商業施設へ流れている。目新しさが落ち着くまでは，商店街の売上げは厳しい状態が続くと思う。（県央＝商店街代表者）
・来春，製品供給を潤沢に行えるよう，各メーカーが原料調達に走ると見込まれるため，保管貨物の需要は増加すると思う 。荷主との値下げ交渉も一段落つき，貨物の動きは今後益々活発になっていくのではないか。（鹿行＝非製造業［輸送業］）
・12 月 1 日より，県南地域では地上波デジタル放送が見られるようになるので，高画質・多機能な放送を楽しみたいというニーズが増えると思われ，これに伴う家電製品の売上げ増が期待できる 。（県南＝家電販売店）
・年度末となり，卒業式，謝恩会，送別会等が重なり，忙しくなると思われる。（県西＝タクシー運転手）

景気の先行き判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	50.1	48.7	51.3	52.7
家計動向関連	49.6	49.6	49.9	49.9
小売関連	48.2	50.8	47.8	52.8
飲食関連	46.1	48.7	47.5	42.9
サービス関連	51.6	47.8	51.0	48.1
住宅関連	50.0	58.3	61.1	58.3
企業動向関連	49.7	44.8	53.3	56.3
農林水産業	53.6	50.0	40.6	50.0
製造業	47.9	39.6	52.2	53.7
非製造業	51.7	51.7	58.6	62.1
雇用関連	55.0	56.0	55.0	61.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	2.5%	19.8%	56.5%	18.0%	3.2%
平成17年６月	1.4%	17.1%	61.2%	15.4%	4.9%
平成17年９月	1.8%	28.0%	48.6%	17.0%	4.6%
平成17年12月	3.8%	26.8%	48.8%	17.5%	3.1%

＜景気の現状判断DI＞

	平成17年9月	平成17年12月	前回調査比
茨城県	48.5	54.1	＋5.6
県北地域	41.2	52.2	＋11.0
県央地域	49.6	50.9	＋1.3
鹿行地域	48.1	54.3	＋6.2
県南地域	53.0	60.8	＋7.8
県西地域	50.5	52.5	＋2.0

＜景気の先行き判断DI＞

	平成17年9月	平成17年12月	前回調査比
茨城県	51.3	52.7	＋1.4
県北地域	49.6	49.1	△0.5
県央地域	53.4	52.6	△0.8
鹿行地域	50.9	52.2	＋1.3
県南地域	54.7	56.9	＋2.2
県西地域	47.7	52.5	＋4.8

県北地域

(1) 現状判断

３か月前と比較した景気の現状判断 DI は**52.2**であり，９月調査分と比べて11.0ポイント上回りました。業種別にみてみると，家計動向関連，企業動向関連及び雇用関連の全ての DI が９月調査分を上回りました。

主な判断理由
・量より質を重視した購買傾向が見られる。１ランク上の商品やこだわり商品の動きが良い。（スーパー）
・12月上旬時点の新卒者就職内定率は，昨年同時期よりも高い。企業の求人も増加している。（学校就業関係者）

景気の現状判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	42.8	45.2	41.2	52.2
家計動向関連	36.5	42.1	35.7	51.4
企業動向関連	52.9	47.1	48.5	51.5
雇用関連	55.0	60.0	55.0	60.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	0.0%	10.2%	57.6%	25.4%	6.8%
平成17年６月	0.0%	19.3%	49.1%	24.6%	7.0%
平成17年９月	0.0%	15.8%	47.4%	22.8%	14.0%
平成17年12月	5.2%	29.3%	37.9%	24.1%	3.4%

(2) 先行き判断

３か月先の景気の先行き判断 DI は**49.1**であり，９月調査分と比べて0.5ポイント下回りました。また**DI 値は全県を通じて最も低くなりました。**業種別にみてみると，企業動向関連 DI 及び雇用関連 DI は９月調査分を上回りましたが，家計動向関連 DI は９月調査分を下回りました。

主な判断理由
・製造業が堅調なので，その影響が各産業へ波及し雇用環境は好調を維持するのではないか。（人材派遣業）
・大手企業の期末を迎え，例年どおり受注量が増加すると思われる。（製造業［電気機械器具］）

景気の先行き判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	45.8	46.1	49.6	49.1
家計動向関連	45.9	46.4	47.1	43.1
企業動向関連	44.1	42.6	52.9	57.4
雇用関連	50.0	55.0	55.0	65.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	1.7%	10.2%	59.3%	27.1%	1.7%
平成17年６月	1.8%	8.8%	64.9%	21.1%	3.5%
平成17年９月	1.8%	21.1%	56.1%	15.8%	5.3%
平成17年12月	5.2%	19.0%	46.6%	25.9%	3.4%

県央地域

(1) 現状判断

３か月前と比較した景気の現状判断 DI は**50.9**であり，９月調査分と比べて1.3ポイント上回りましたが，**DI 値は全県を通じて最も低くなりました。**業種別にみてみると，家計動向関連 DI 及び企業動向関連 DI は９月調査分を上回りましたが，雇用関連 DI は横這いでした。

主な判断理由
・不動産及び建設関連において，東京及び外資マネーがファンドを介して水戸に投資されている 。（非製造業［コンサルタント業］）
・冬物商材の動きが活発で，消費動向としては上がっていると思う 。また，クリスマスデコレーション関係の商品が昨年に比べ良く売れており，生活的な余裕を感じる。（専門スーパー）

景気の現状判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	47.3	47.8	49.6	50.9
家計動向関連	42.9	46.4	46.7	48.0
企業動向関連	56.7	43.8	53.1	54.7
雇用関連	50.0	70.0	60.0	60.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	5.5%	14.5%	47.3%	29.1%	3.6%
平成17年６月	1.8%	19.6%	50.0%	25.0%	3.6%
平成17年９月	1.7%	20.3%	59.3%	11.9%	6.8%
平成17年12月	3.4%	22.4%	53.4%	15.5%	5.2%

⑵　先行き判断

３か月先の景気の先行き判断 DI は**52.6**であり，９月調査分と比べて0.8ポイント下回りました。業種別にみてみると，企業動向関連 DI は横這いでしたが，家計動向関連 DI 及び雇用関連 DI は９月調査分を下回りました。

主な判断理由
・大型店との競合により，客数低迷は暫く続くと思われる。（スーパー）
・10月末にダイエー水戸店が閉店し，大量の失業者が生じた。（公共職業安定所）

景気の先行き判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	50.5	52.7	53.4	52.6
家計動向関連	52.1	55.0	48.7	48.0
企業動向関連	45.0	43.8	62.8	62.5
雇用関連	55.0	65.0	60.0	55.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	1.8%	14.5%	72.7%	5.5%	5.5%
平成17年６月	5.4%	19.6%	60.7%	8.9%	5.4%
平成17年９月	3.4%	28.8%	49.2%	15.3%	3.4%
平成17年12月	8.6%	20.7%	48.3%	17.2%	5.2%

鹿行地域

⑴　現状判断

３か月前と比較した景気の現状判断 DI は**54.3**であり，９月調査分と比べて6.2ポイント上回りました。業種別にみてみると，家計動向関連，企業動向関連及び雇用関連の全ての DI が，９月調査分を上回りました。

主な判断理由
・業績好調の今期を踏まえ，次年度大幅な人員増を計画している企業もあるが，対応する派遣スタッフを探すのが難しい。（人材派遣業）
・年末年始の需要期を前に，幾分良くなっている 。（農業関係者）

景気の現状判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	45.5	52.1	48.1	54.3
家計動向関連	40.3	51.3	46.3	50.7
企業動向関連	56.7	50.0	48.3	57.8
雇用関連	50.0	65.0	60.0	70.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	3.6%	17.9%	42.9%	28.6%	7.1%
平成17年６月	0.0%	28.8%	52.5%	16.9%	1.7%
平成17年９月	3.7%	16.7%	51.9%	24.1%	3.7%
平成17年12月	1.7%	29.3%	55.2%	12.1%	1.7%

⑵　先行き判断

３か月先の景気の先行き判断 DI は**52.2**であり，９月調査分と比べて1.3ポイント上回りました。業種別にみてみると，企業動向関連 DI 及び雇用関連 DI は９月調査分を上回りましたが，家計動向関連 DI は９月調査分を下回りました。

主な判断理由
・原材料価格が落ち着いてきたので，先行きに期待感を持つという話を聞くようになった。（求人開拓員）
・年度末や決算期を控え，多少良くなると思う。（製造業［食品］）

景気の先行き判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	54.9	50.4	50.9	52.2
家計動向関連	51.4	51.3	52.2	48.6
企業動向関連	61.7	45.3	51.7	57.8
雇用関連	60.0	60.0	40.0	60.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	5.4%	26.8%	51.8%	14.3%	1.8%
平成17年６月	0.0%	25.4%	54.2%	16.9%	3.4%
平成17年９月	1.9%	22.2%	55.6%	18.5%	1.9%
平成17年12月	1.7%	22.4%	62.1%	10.3%	3.4%

県南地域

⑴　現状判断

３か月前と比較した景気の現状判断 DI は**60.8**であり，９月調査分と比べて7.8ポイント上回りました。また**DI 値は全県を通じて最も高くなりました。**業種別にみてみると，家計動向関連，企業動向関連及び雇用関連の全ての DI が９月調査分を上回りました。

主な判断理由
・コース料理のメニューをオーダーする際，今までより１つ上のランクを選ぶ客が増えている。（洋食食堂）
・都内及び地元のニーズが増加しており，駅近物件やつくば市中心地，TX 沿線の物件に成約が目立つ。（非製造業［不動産業］）

景気の現状判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	50.4	45.7	53.0	60.8
家計動向関連	48.6	47.1	52.1	60.1
企業動向関連	50.0	44.4	52.9	60.9
雇用関連	65.0	40.0	60.0	65.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	5.2%	27.6%	36.2%	25.9%	5.2%
平成17年６月	0.0%	19.0%	56.9%	12.1%	12.1%
平成17年９月	1.7%	31.0%	46.6%	19.0%	1.7%
平成17年12月	8.6%	37.9%	43.1%	8.6%	1.7%

⑵　先行き判断

３か月先の景気の先行き判断 DI は**56.9**であり，９月調査分と比べて2.2ポイント上回りました。また**DI 値は全県を通じて最も高くなりました。**業種別にみてみると，家計動向関連 DI 及び企業動向関連 DI は９月調査分を上回りましたが，雇用関連 DI は横這いでした。

主な判断理由
・春先に向けて，筑波山への観光客が増加すると見込まれる。（タクシー運転手）
・株価の上昇や円安等，製造業にとって追い風の状態は，暫く継続すると思う 。（製造業［一般機械器具］）

景気の先行き判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	52.2	46.1	54.7	56.9
家計動向関連	51.4	46.4	54.2	57.4
企業動向関連	52.8	47.2	52.9	53.1
雇用関連	55.0	40.0	65.0	65.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	1.7%	29.3%	46.6%	20.7%	1.7%
平成17年６月	0.0%	17.2%	58.6%	15.5%	8.6%
平成17年９月	1.7%	41.4%	36.2%	15.5%	5.2%
平成17年12月	1.7%	43.1%	37.9%	15.5%	1.7%

県西地域

⑴　現状判断

３か月前と比較した景気の現状判断 DI は**52.5**であり，９月調査分と比べて2.0ポイント上回りました。業種別にみてみると，家計動向関連 DI 及び雇用関連 DI は９月調査分を上回りましたが，企業動向関連 DI は９月調査分を下回りました。

主な判断理由
・新規求職者が減少している。また，事業主都合の離職者も昨年より大幅に減った。（公共職業安定所）
・11～12月は今年最低の受注量だった。これまで受注が多くて忙しいと言っていた業者ですら，珍しく弱音を吐いていた。（製造業［石材業］）

景気の現状判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	48.6	47.8	50.5	52.5
家計動向関連	45.2	48.4	42.7	49.3
企業動向関連	52.6	47.4	58.3	50.0
雇用関連	55.0	45.0	70.0	85.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	1.8%	23.6%	43.6%	29.1%	1.8%
平成17年６月	0.0%	17.9%	58.9%	19.6%	3.6%
平成17年９月	0.0%	25.9%	53.7%	16.7%	3.7%
平成17年12月	3.4%	28.8%	45.8%	18.6%	3.4%

⑵　先行き判断

３か月先の景気の先行き判断 DI は**52.5**であり，９月調査分と比べて4.8ポイント上回りました。業種別にみてみると，家計動向関連，企業動向関連及び雇用関連の全ての DI が９月調査分を上回りました。

主な判断理由
・今年は寒さが厳しいため，冬物衣料の動きが良さそうである。（商店街代表者）
・円安で競争力がつき，国内加工の仕事が増えることを期待している。（製造業［石材業］）

景気の先行き判断DI

分野＼調査日時	平成17年3月	平成17年6月	平成17年9月	平成17年12月
合計	47.3	48.2	47.7	52.5
家計動向関連	46.8	48.4	46.8	52.1
企業動向関連	46.1	44.7	47.2	51.3
雇用関連	55.0	60.0	55.0	60.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年３月	1.8%	18.2%	52.7%	21.8%	5.5%
平成17年６月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%
平成17年９月	0.0%	25.9%	46.3%	20.4%	7.4%
平成17年12月	1.7%	28.8%	49.2%	18.6%	1.7%